

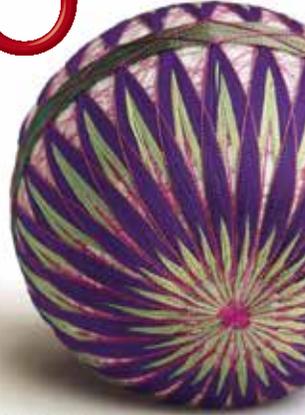
C_o-medical

Complex Cardiovascular Therapeutics 2016

CCT 2016

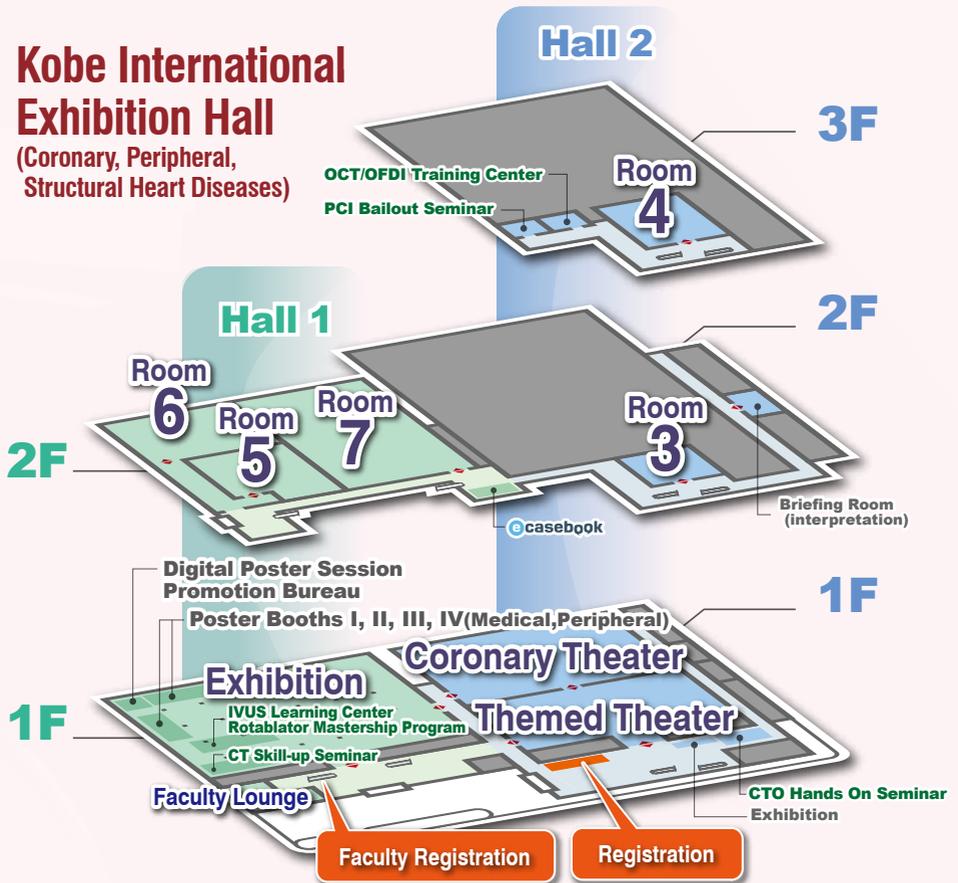
Dates **October 20** thu.- **22** sat., 2016

Venue **Portopia Hotel, Kobe, Japan**

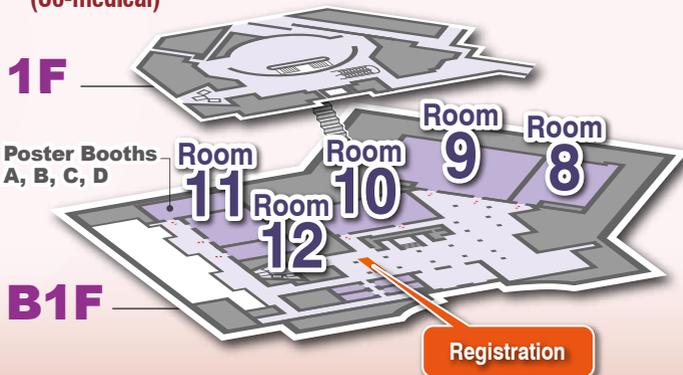


Venue

Kobe International Exhibition Hall (Coronary, Peripheral, Structural Heart Diseases)



Portopia Hotel Main Bldg. (Co-medical)



Index

Program at a glance (Coronary, Peripheral) p. 4

Coronary p. 16

Peripheral p.172

Structural Heart Diseases p.194

Co-medical p.198

Hands-on and Training Center p.218

Exhibition p.232

Information

Language

Coronary English

Peripheral English, Japanese

Co-medical Japanese

Simultaneous interpretation is available:

English, Japanese and Chinese: Coronary Theater

Japanese and Chinese: Morning Sessions on Room 3

English and Japanese: Themed Theater, Room 3, Room 6, Room 7

※Except for sponsored sessions.

 English translation available

 Japanese translation available

 Chinese translation available

 Japanese only

Registration Fee

Online Registration → <http://cct.gr.jp/2016>

Medical	3 days	JPY 35,000
Medical	1 day	JPY 20,000
Medical(Intern)*	3 days	JPY 10,000
Co-medical	3 days	JPY 4,000
Industrial Professional	3 days	JPY 35,000

* Medical(Intern) is required to present certification showing they are currently in the internship (4 years period) after graduation from medical school. Failure to do this will be charged the on-site registration fee of Medical. Pre-registration is not required.

** A student can attend the live course free of charge. Please present your student ID or equivalent documents at the on-site registration desk. Pre-registration is not required.

Online Program & Apps

The latest program of CCT2016 will be uploaded on Online Program website, Android and iOS apps. You could search and bookmark session information on PC, smart phone and tablet. Please make the most of the website and apps on site as well as at home.

Website: <http://cct.gr.jp/2016/program/>

Apps: Please search "CCT2016" on Google Play or App Store

Password: cct2016



Free Wi-Fi Spots

Free Wi-Fi is available in all theaters, rooms and exhibition. Please note that the network may be unstable according to the number of connecting users.

Notification

No smoking on all site.

No photography and video shooting without permission.

Opening Hours

Registration Desk

Kobe International Exhibition Hall 2, 1F

Oct. 20, 21 7:15 - 18:00

Oct. 22 7:15 - 15:00

Faculty Registration Desk

Kobe International Exhibition Hall 1, 1F

Oct. 20, 21 7:15 - 18:00

Oct. 22 7:15 - 15:00

Exhibition

Kobe International Exhibition Hall 1, 1F

Oct. 20, 21 8:30 - 18:00

Oct. 22 8:30 - 17:00

Food and Beverages

Coffee service will be offered at Kobe International Exhibition Hall 1, 1F and Portopia Hotel 1F, (Service time is limited)

Light meals will be served before morning session and fireside session.

Lunch boxes will be served before luncheon seminar.

Activity

AMEX Club: CCT Fun Run 2016



Date: Oct. 22(Sat.) 7:00-8:00

Location: Kobe PortIsland

Distance: 5km

Meeting Point: Portopia Hotel, 1F The lobby

Participation Fee: Free

Notes: To be canceled in case of rain

You're invited to participate in the CCT Fun Run, where you can enjoy a 5km course in Kobe PortIsland under the guidance of Ms. Toshie Kawatsu, a sports instructor and former member of the Japan national team for the women's 10km race-walk. Receive an event T-shirt and enjoy the beautiful scenery of Kobe while jogging with proper guidance from the professional instructor. This fun themed running event is the perfect balance for both new and seasoned runners. Please gather in the lobby on the first floor at the Portopia Hotel at 7:00. No entry fee and registration are required.

Toshiyuki Matsumura (Kumamoto Rosai Hospital, Japan)

The President of AMEX Club (Anti Metabolic syndrome with EXercise)

Secretariat

On-site secretariat (October 20-22 only)

Kobe International Exhibition Hall 2, 1F

Tel: +81-(0)78-303-4007 / +81-(0)78-303-4008

Fax: +81-(0)78-303-4009

Course Directors

- 稲田 毅
岐阜ハートセンター
- 佐藤 久弥
昭和大学病院
- 佐野 始也
高瀬クリニック
- 塩田 裕啓
洛和会丸太町病院
- 穴戸 尚美
草津ハートセンター
- 島袋 朋子
湘南鎌倉総合病院
- 清水 速人
倉敷中央病院
- 添田 信之
星総合病院
- 辻井 正人
三重ハートセンター
- 永井 美枝子
済生会横浜市東部病院
- 鯨井 秀之
大手前病院
- 納口 英次
心臓血管研究所付属病院
- 平田 和也
JCHO北海道病院
- 山口 敏和
名古屋ハートセンター

Japanese Faculty

- 赤松 俊二
滋賀県立成人病センター
- 浅岡 伸光
八尾市立病院
- 浅野 友和
湘南鎌倉総合病院
- 芦川 直也
豊橋ハートセンター
- 荒木 基晴
済生会横浜市東部病院
- 稲毛 秀一
順天堂大学医学部附属順天堂医院
- 今井 俊輔
岐阜ハートセンター
- 今井 康之
新東京病院
- 上村 佳代
三重ハートセンター
- 悦永 瑠衣
日本心臓血管研究振興会附属
橿原記念病院
- 遠藤 桂輔
倉敷中央病院
- 岡田 忠久
京都桂病院
- 岡本 恵子
中部ろうさい病院
- 小川 真澄
久留米大学病院
- 奥田 正徳
JCHO北海道病院
- 笠原 西介
聖マリアンナ医科大学横浜市
西部病院
- 金城 美恵
森之宮病院
- 川井 りか
京都桂病院
- 川村 一太
岐阜ハートセンター
- 川村 克年
桜橋渡辺病院
- 神田 千秋
富山県立中央病院
- 菊地 康昭
星総合病院
- 木島 幹博
星総合病院
- 北井 孝明
舞鶴共済病院
- 木下 博子
岸和田徳州会病院
- 木下 昌樹
岡崎市民病院
- 木村 紘也
箕面市立病院
- 國井 由花
会津中央病院
- 久保 俊介
倉敷中央病院
- 齋藤 登代子
昭和大学横浜市北部病院
- 齋藤 裕子
星総合病院
- 坂本 肇
山梨大学医学部附属病院
- 桜山 千恵子
東京都健康長寿医療センター
- 佐々木 忠司
岩手医科大学附属病院
- 篠田 耕造
岐阜ハートセンター
- 鈴木 賢昭
ペルランド病院
- 巢元 美佐
小倉記念病院
- 澤海 綾子
新久喜総合病院
- 滝村 英幸
済生会横浜市東部病院
- 武田 和也
日本心臓血管研究振興会附属
橿原記念病院
- 舘 智子
京都桂病院
- 田邊 頌章
横浜市立市民病院
- 谷岡 怜
神戸大学医学部附属病院
- 玉澤 充
北光記念病院
- 塚本 篤子
NTT東日本関東病院
- 水流 綾子
桜橋渡辺病院
- 寺澤 史明
製鉄記念室蘭病院
- 寺西 ふみ子
八尾市立病院
- 戸頃 康男
新久喜総合病院
- 徳永 政敬
東宝塚さとう病院
- 富田 紀雄
仙台厚生病院
- 堂領 和彦
順天堂大学医学部附属練馬病院
- 中川 透
金沢医科大学病院
- 中川 義久
天理よろづ相談所病院
- 永田 恵
豊橋ハートセンター
- 中西 基修
草津ハートセンター
- 中野 紗都子
湘南藤沢徳州会病院
- 中村 可奈
三重ハートセンター
- 中村 康雄
麻生総合病院
- 中山 一夫
新東京病院
- 野口 純子
厚生中央病院
- 野崎 暢仁
高の原中央病院かんざいハート
センター
- 佐々木 忠司
岩手医科大学附属病院
- 橋本 潤一
太田総合病院附属太田西ノ内病院
- 長谷川 由美子
岐阜ハートセンター
- 早川 朋美
順天堂大学医学部附属練馬病院
- 藤田 光広
公立阿伎留医療センター
- 二上 倫嗣
星総合病院
- 松本 一真
兵庫医科大学

- 水崎 繁
三重ハートセンター
- 水戸 武史
箕面市立病院
- 宮本 秋生
札幌心臓血管クリニック
- 六尾 哲
市立岸和田市民病院
- 八鍬 恒芳
東邦大学医療センター大森病院
- 安田 光慶
昭和大学江東豊洲病院
- 山内 陽平
倉敷中央病院
- 山口 孝之
京都大学医学部附属病院
- 山口 隆義
華岡青洲記念心臓血管クリニック
- 山田 浩司
近畿大学医学部附属病院
- 湯面 真吾
山口県済生会山口総合病院
- 横山 博典
国立循環器病研究センター
- 善積 透
川崎病院

International Faculty

- Kyung Jin Jung
Catholic University Seoul
St. Mary's Hospital, Korea
- Yu Gi Won
Korea University Anam
Hospital, Korea

(Alphabetical order)

CCT2016は“基本知識の構築とチーム医療の充実”と題して、先ずコメディカルが必要な最低限の知識を再認識してカテ室のお仕事に深く興味を持ち、医師の仕事を理解してお仕事を楽しめるような目標をもてるような会にしたいと考えております。そのためには深く基礎知識の啓蒙を行い解剖に始まり、ECGの読み方、血行動態の把握の仕方、補助循環の理論と実際、救急組成のABC、救急薬剤の正しい使い方、PCIで現在使用されている多くのデバイス、ガイドカテーテル、ガイドワイヤー、バルーン、STENT、吸引デバイス、IVUS、OCT、FFR、Rotablator、DCAなどの基本構造から原理、適正使用などについてPCIの基礎知識を幅広くして参加された皆様に新しい知識の導入と再確認していただける内容に特化したプログラムにできるよう考えております。

また、これから新しく世の中に出てくる生体吸収型STENT (BVS)の原理から構造、その使い方と留置方法とDAPTの使い方。リバイバルで出現したDCA、それに必要な基礎知識。近年多くの施設でされるようになってきたストラクチャーやTAVI等の新しい手技、技術、ピットホール、それに関わるハートチームのあり方などこれから新しく始めようとする施設のベースになれるよう、また、現在PCIを行っていて抱えている疑問の払拭を目指しながら情報交換の場になればと考えております。参加された皆様方が横のつながりをもつことにより、様々な情報を共有し、医療の質と安全性を高くすることができると考えております。

当然例年通りコメディカルライブ、ハンズオンセミナーなども企画いたします。今年も昨年同様コメディカルライブをCoronaryとPeripheralで別々の施設から放映し、様々な施設の工夫等が垣間見られることを期待します。参加される方には、いろいろな面から学習していただきたいと思っております。皆様各施設に帰ってよりよいハートチームを作り、地域医療に貢献できるような目標を持って今回のCCTを誠心誠意企画いたしておりますので、皆様奮ってご参加下さいますようよろしくお願いいたします。

Thursday, October 20

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
Room 9		チーム医療のための基礎知識①		チーム医療のための基礎知識②		ランチョン セミナー <small>バイオロジックジャパン</small>	補助循環の ベーシック	イメージングの 基礎知識	デバイスについて知ろう			
Room 11		基礎セッション		エキスパートセミナー①			CTセッション		被曝セッション —DRLとは何か? 丁寧に話します—	Digital Poster Session 放射線技師		
Poster Booth			Poster Session 放射線技師									

Friday, October 21

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:30
Room 9		新人ナースセミナー (看護編) 「絶対役立つ、実践!新人さん ナースセミナー」		教育シンポジウム 「ゆとり世代! やる気がある」 のか、ないのかわからない」		ランチョン セミナー <small>アポトバスキャラ シヤ/シ</small>	コメディカルライブ Peripheral Live in Tobu	LIVE コーヒー ブレイク セッション <small>ニプロ/東/東グッドマン</small>	エキスパートに聞く!4		ファイアーサイド セッション <small>日本ライフライン</small>	
Room 11		皆で学んで明日から活かそう超音波!					チーム医療としての 心臓リハビリテーション		SHDの基礎から最新情報!			
Poster Booth			Poster Session 看護師									

Saturday, October 22

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
Room 9		コメディカルライブ Coronary Live in Toyohashi			LIVE ランチョン セミナー <small>ホストン/サイエンティフィック ジャパン</small>	基礎から心電図を勉強しましょう						
Room 11		Digital Poster Session 看護師		Angioセッション			エキスパートセミナー②		Digital Poster Session 臨床工学技士 臨床検査技師			
Poster Booth			Poster Session 臨床工学技士 臨床検査技師									

※スケジュール及び内容は都合により変更されることがあります。

Thursday, October 20

Room 9

8:30-10:35 チーム医療のための基礎知識①

カテ室での業務には解剖や循環動態をはじめとした幅広い知識が必要とされます。このセッションでは、カテ室で必須となる知識を基本からしっかり理解してもらうことを目的としました。ピギナーの方にもわかりやすく、ベテランの方には自施設での新人教育の参考にしていただける内容のセッションです。

座長

塩田 裕啓
中西 基修

心臓の解剖と CAG の読み方

菊地 康昭

全身血管の解剖

奥田 正穂

血行動態を読み解く

野崎 暢仁

右心系カテーテルいろいろ

宮本 秋生

穿刺部位と止血方法

國井 由花

10:35-12:15 チーム医療のための基礎知識②

このセッションではカテ室で必須となる知識を基本からしっかり理解してもらうことを目的としました。エコー所見を理解できるようになり、腎保護や被ばく対策の方法と意義を知ること、一気に仕事のレベルアップを図りましょう。

座長

辻井 正人
中川 透

目からウロコの心エコー講座

清水 速人

下肢エコーを理解しよう

永井 美枝子

腎保護のススめ

塩田 裕啓

被ばく低減のためのアドバイス

安田 光慶

Luncheon Seminar

12:30-13:30 虚血性心疾患における心
臓再同期療法
- 左室 Quadripolar
Lead による新たな展開 -

座長

辻井 正人
塚本 毅 (関東中央病院)

演者

森島 逸郎 (大垣市民病院 循環器内科)

共催：バイオトロンクジャパン株式会社

13:30-14:20 補助循環のベーシック

循環器関連の業務を担当するからには補助循環の知識は欠かせません。イザという場面であわてないよう、ぜひとも知っておいてほしいツボを基本から丁寧に解説してもらいます。

座長

赤松 俊二
谷岡 怜

IABP：原理とケアのポイント

木下 昌樹

PCPS：あわてないためのコツ

徳永 政敬

14:20-15:20 イメージングの基礎知識

カテーテルインターベンションにおける画像解析の大切さは言うまでもありません。このセッションではイメージングデバイスの原理や基本的な画像の解釈など、基礎知識を中心に講演してもらいます。むずかしい話はヌキです、気軽に参加してください。

座長

木下 昌樹
國井 由花

IVUS って、どこを見ればいいのか？

二上 倫嗣

OCT、OFDI のスゴいところ

舘 智子

FFR、iFR で何がわかるの？

長谷川 由美子

15:20-18:15 デバイスについて知ろう

昨今、コメディカルスタッフがデバイスに関わる機会も増えてきました。そこで、各デバイスの構造や使い方といった基礎知識を幅広く学んでいただくセッションを企画しました。「いったい何のためのデバイスなんだろう、どんな使い方をするんだろう」、そんな疑問を心地よく解決してくれます。

座長

野崎 暢仁
宮本 秋生

こんなにあるのか、PCI 用カテーテル

中西 基修

ガイドワイヤーを知り尽くす

橋本 潤一

奥深いバルーンの世界

稲田 毅

冠動脈ステントいろいろ

平田 和也

末梢用デバイスのあれこれ

玉澤 充

DCA、復活の意義

添田 信之

ROTA って、スゴいんです

中川 透

Room11

9:00-10:30 基礎セッション

循環器領域において放射線技師の役割は多様化してきています。今セッションでは、基礎になることをテーマにしました。まず心臓の解剖においてアンギオ画像とCT画像を比較して立体的に分かりやすく解説して頂きます。次に心臓の病気の種類、また、放射線を用いた検査について講演して頂きます。最後に我々がIVRに必要なIVUSの基礎知識、読み方について講演して頂きます。

座長

鯨井 秀之
善積 透

心臓の解剖について

北井 孝明

心臓の病気と放射線検査について

水戸 武史

放射線を使用しない画像診断について

川村 克年

11:00-12:20 エキスパートセミナー①

エキスパートの講師陣が、あなたをエキスパートにしてくれるレクチャーです。実践的な知識を中心にピットフォールや合併症なども踏まえ、聴き終わる頃には「もう私のことをピギナーとは言わせない」そんな気持ちになれるはずです。

座長

添田 信之
平田 和也

IVUSのエキスパートになろう

赤松 俊二

OCT/OFDI、もうピギナーとは言わせない!

谷岡 怜

13:30-15:00 CTセッション

心臓CTによる形態評価は、装置、ワークステーションの技術進歩により一定の水準に達してきた。しかし、高度石灰化病変等に起因する過大評価の問題など、形態評価の限界も残っている。また、近年では心臓CTによる機能評価の期待が大きく臨床の現場で普及しつつある。本セッションでは心臓CT画像診断における今後の展望について最新技術を中心に講演いただく。

座長

佐野 始也
山口 隆義

心臓CTに求められる新たな技術とは?

山口 隆義

FFR-CT

今井 俊輔

CT-FFR

稲毛 秀一

Ultra High Resolution CTの初期経験

佐々木 忠司

15:00-16:30 被ばくセッション
DRLとは何か?
丁寧に話します

カテーテル検査や治療は病気を治す利益がありますが、半面、放射線被曝を被る不利益も生じます。診療では利益が不利益を上回ることが求められています。カテーテル治療では疾患の治療と言う利益と放射線被曝と言う不利益が存在します。

DRLと言う言葉をご存じでしょうか?DRLとはDiagnostic Reference Levelの略で、放射線防護の最適化のための診断参考レベルのことです。診断・治療で最適な放射線量はいくらなのかを示した指標です。カテーテル治療において最適な線量を設定するのがDRLの役割となります。今セッションではDRLの解説を分かり易く説明して頂くとともに、日本での線量の実態をお話しして頂きます。

現在行われている施設での線量設定が妥当なのか、改善の余地はないのかをじっくりと考察して頂ければ幸いです。

あなたの施設の放射線量とDRL値を比べてみましょう。そしてDRL値を参考に最適な画質を提供できるように環境を整えていきましょう。

座長

坂本 肇
横山 博典

最適化のツールDRLとは

塚本 篤子

IVR領域におけるDRLs2015の解説

鈴木 賢昭

IVR領域におけるDRLs2015の活用と今後の動向について

坂本 肇

X線血管撮影装置の線量マネージメントについて

廣瀬 聖史 (東芝メディカルシステムズ株式会社)

Digital Poster Session

16:30-18:00 放射線技師

座長

善積 透
山田 浩司

審査員

堂領 和彦
水戸 武史

審査員長

川井 和哉

C-02 熊本地震における当院血管造影室の装置等の被害状況と考察

Digital

深松 昌博

(国立病院機構 熊本医療センター)

C-04 腎動脈造影における撮影法の考案

Digital

伏見 隆宏

(湘南鎌倉総合病院)

C-06 非慢性完全閉塞性病変に対する3D-wiringを用いたガイドワイヤ挿入時の先端向きを検討

Digital

川村 克年

C-20 CTを用いたCT-FFR解析ソフトの初期検討(先行評価)

Digital

稲毛 秀一

(順天堂大学医学部附属順天堂医院)

C-23 冠動脈サブトラクションCTA検査における管電圧と線量の基礎的検討

Digital

伊田 佑輔

(聖マリアンナ医科大学病院)

Poster Session

10:30-12:20 放射線

Exhibition Booth A

座長

今井 康之
水崎 繁

C-01 PM,ICD,CRT 移植術時における患者・術者・看護師の被ばく線量の報告
村山 和宏
(JA 愛知厚生連 豊田厚生病院)

C-02 熊本地震における当院血管造影室の装置等の被害状況と考察
深松 昌博
(国立病院機構 熊本医療センター)

C-03 TAVI における多職種の被曝リスク認識と被曝低減へ向けた取り組み
中山 一夫

C-04 腎動脈造影における撮影法の考案
伏見 隆宏
(湘南鎌倉総合病院)

C-05 冠動脈造影における直交方向角度の検討
川村 克年

C-06 慢性完全閉塞性病変に対する 3D-wiring を用いたガイドワイヤ挿入時の先端向きを検討
川村 克年

C-07 当院 Hybrid 手術室におけるステントグラフト内挿術の放射線被ばく
佐々木 将平
(大阪市立大学医学部附属病院)

C-08 血管撮影予約システムの導入
小野塚 直樹
(新潟市民病院)

C-09 「造影剤自動注入器」の盲点
田村 健一
(社会医療法人社団 木下会 鎌ヶ谷総合病院)

C-10 慢性完全閉塞性病変に対する 3D-wiring と 2D-wiring での順行性アプローチ手技の比較検討
水谷 寛
(桜橋渡辺病院 心臓・血管センター)

C-11 当院の経カテーテル大動脈弁置換術における取り組み
岩上 亜矢
(亀田総合病院)

C-12 非造影血管像の新たな 3D fusion image の考案
山本 健太
(兵庫県立姫路循環器病センター)

Exhibition Booth B

座長

木村 紘也
早川 朋美

C-13 条件付 MRI 対応デバイスの実態 (ICD における実機テスト)
西尾 康孝
(おもと会 大浜第一病院)

C-14 PMI 術前における胸部単純 CT を用いた vascular access 支援画像の有用性
谷越 哲也
(社会医療法人医翔会 札幌白石記念病院)

C-15 PCI におけるステント強調ソフトと血管内イメージングの比較及び関係性についての検討
鈴木 雅己
(公立学校共済組合 関東中央病院)

C-16 TAVI における CT と術中の最適角度の関係について
清水 利光
(湘南鎌倉総合病院)

C-17 CoronaryCT にて経験した冠動脈周囲炎の症例
仲西 一真
(上尾中央総合病院)

C-18 心臓 MRI 画像の撮像断面における心機能解析の検討
伊藤 悠貴
(上尾中央総合病院)

C-19 TAVI スクリーニング CT における撮影条件の変更による計測値への影響
山村 肇
(札幌東徳洲会病院)

C-20 CT を用いた CT-FFR 解析ソフトの初期検討 (先行評価)
稲毛 秀一
(順天堂大学医学部附属順天堂医院)

C-21 CT と OCT の比較
片嶋 陽一
(大和成和病院)

C-22 CKD 合併の CTO 症例の PCI 治療戦略に Plain 心臓 CT が有用だった症例
檜作 聡
(札幌整形循環器病院)

C-23 冠動脈サブトラクション CTA 検査における管電圧と線量の基礎的検討
伊田 佑輔
(聖マリアンナ医科大学病院)

C-24 TAVI 施行時の術前 CT における perpendicular view の算出精度～Aortagraphy と比較して～
今井 康之

C-25 時間分解能の異なる装置における冠動脈動態解析アルゴリズムの効果
佐藤 英幸
(社会福祉法人仁生社 江戸川病院)

Friday, October 21

Room 9

9:00-11:00 新人ナースセミナー (看護編)
「絶対役立つ、実践！新人さんナースセミナー」

安静保持できない認知症患者さんの対応、排尿介助、抑制方法、保温の工夫などカテ室での患者ケアについてベテランナースが答えます。また薬の基礎、管理、カテ室で飛び交う略語など日頃の疑問を解消できるセミナーです。

座長

木下 博子
澤海 綾子

循環器の入院はお金がかかる？
浅野 友和

循環器看護師に必要な薬の知識
芦川 直也

カテ前の準備
島袋 朋子

カテ室で新人看護師が戸惑うこと
中村 康雄

カテ室での看護技術
齋藤 登代子

カテ後の看護
川井 りか

11:00-12:20 **教育シンポジウム**
**「ゆとり世代！やる気がある
のか、ないかわからない」**

そんな新人看護師をどのように成長させるべきプログラムをたてているのか毎年、興味深い、参考になりたい各施設の教育の取り組みです。有意義なディスカッションを行いたいと思います。

座長

穴戸 尚美
篠田 耕造

演者

神田 千秋
齋藤 裕子
水流 綾子
永田 恵
巢元 美左

Luncheon Seminar

12:30-13:30 **症例増のための院内・院
外連携の真髄
～診断から治療に至るまで
のチーム医療の重要性～**

座長

添田 信之

演者

佐藤 勝彦

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

13:30-15:30 **コメディカルライブ **LIVE****
Peripheral Live in Tobu

昨年に引き続き済生会横浜市東部病院より行います。各コメディカルの役割、治療への取り組みはもちろんのことですが今年は看護師さん目線のライブを行いたいと思っております。下肢治療後の創傷治癒を含めカテ室のみならず病棟・外来での役割など他施設の皆様と共有できたらと思っております。

座長

永井 美枝子
平田 和也

コメンテーター

岡田 忠久
木下 博子
中山 一夫
山内 陽平

ミニレクチャー

フットケアへの取り組み
ー済生会横浜市東部病院ー
滝村 英幸

フットケアへの取り組み
ー森之宮病院ー
金城 美恵

コメディカルライブでは、
e-mail で質問を受け付けます！
ふるってご参加ください。
c-question@cct.gr.jp



Coffee Break Lecture

15:30-16:00 **DCAの準備と基礎**

座長

添田 信之

演者

山口 敏和

共催：ニプロ株式会社/株式会社グッドマン

16:00-18:00 **エキスパートに聞く！4**

今年は理想の看護のシチュエーションカテ中に起こるいろいろな場面において、エキスパートナースは何を考えよう動いたらいいのかが 医師の意見を聞きながら考えていきたいと思えます。

座長

島袋 朋子
中村 康雄

コメンテーター

戸頃 康男

演者

木下 博子
湯面 真吾
野口 純子
中野 紗都子

ミニレクチャー

緊急時 DC パットを外さずに撮影できる横浜スタイル
田邊 頌章

Fireside Session

18:00-19:30 **心カテの達人になるために 13**

座長

添田 信之

CTO PCI を成功させるために
- 当院におけるコメディカルの役割 -
小森田 翔 (心臓病センター榊原病院)

カテール室におけるチーム医療
倉田 直哉 (関西ろうさい病院)

カテ室の効率的運用を検討して
～カテ室劇的ビフォーアフター～
長谷川 奈央子 (鎌ヶ谷総合病院)

心臓領域の超音波の有用性
櫻井 将之

共催：日本ライフライン株式会社

Room11

9:00-12:20 **皆で学んで明日から活かそう
超音波！**

心臓に関わる検査や治療において超音波はなくてはならない情報の一つです。術前から術中・術後まで様々なことがわかります。カテールで行われるPCIやPPIをはじめTAVIなどのSHD治療までハートチームで携わる機会が多くなってきました。様々な治療を行うにあたり情報を収集する際に、どこをどう見ておくべきか理解しておく必要があります。多くのスタッフが見る目を養うことにより、合併症の起こるリスクを最小限におさえることができます。

このセッションは下肢エコーと心エコーについて、基礎からレポートの見方、実臨床についてまで経験豊富な講師の先生からわかりやすく講義をしていただきます。ハートチームの一員として奮ってご参加いただき、楽しく学び日頃の悩みを解決しませんか。

9:00-10:30 **下肢エコー**

座長

山内 陽平

基礎編：取り方・正常パターン・レポートのみかた
寺澤 史明

臨床編：代表的疾患のエコー所見
八鍬 恒芳

下肢動脈の治療について：最新のEVTについて・エコーガイドPPI
永井 美枝子

10:40-12:20 **心臓エコー**

座長
浅岡 伸光

心エコーの基礎：取り方・正常パターン・レポートのみかた
六尾 哲

虚血性心疾患：壁運動異常の評価とPCI中に起こりうる合併症のエコー所見
遠藤 桂輔

重症心不全を学ぼう：心エコー所見から最新の治療について
桜山 千恵子

13:30-15:30 **チーム医療としての心臓リハビリテーション～カテーテル治療・外科手術の先にある現実を見つめ直す～**

日本の高齢化率は25%を越え、それと共に心不全患者も増加の一途をたどっています。心不全は全ての心疾患の終末像であり、2030年には130万人を越えると推定され、全ての循環器科医にとって避けては通れない問題です。心不全患者は経過中に増悪による入退院を繰り返し、その度に身体活動能力が低下して予後不良になる事が知られています。再増悪を予防すること、つまり再入院を予防することが非常に重要ですが、再増悪の原因は虚血、感染症、不整脈、高血圧などの医学的な要因に加えて、水分・塩分制限や内服薬服用の不徹底、身体的/精神的ストレス、虚弱状態など多岐にわたります。そのため、心不全治療・管理には多職種による包括的なアプローチが必要であり、医師、看護師、理学療法士、栄養士、薬剤師、医療連携室などの全てのメディカルスタッフが1つのチームとして機能しなくてはなりません。このチームが中心となり、カテーテル治療や薬物療法のみでなく、生活指導・服薬指導・栄養指導・運動処方・社会福祉サービスの利用など急性期から退院後の生活まで考慮した、トータルマネージメントを行う事が心不全再入院予防に繋がるはず。心不全をどのように治療・管理していくか、カテーテル治療や外科手術のその先にある現実を是非見つめ直して頂きたいプログラムです。

座長
川村 一太
木島 幹博

演者
川村 一太
笠原 西介
芦川 直也
岡本 恵子
悦永 瑠衣

15:30-18:00 **SHDの基礎から最新情報！PCIだけが心臓の治療ではありません。皆で知ろうSHD！これを聞けば明日からTAVIもマイトラクリップも怖くない！**

現在、TAVIは大動脈弁狭窄症の治療として普及し全国の約100施設で行なわれるようになってきました。認可を受けた施設しか治療を行なうことは出来ませんが、術前、術後の検査は、すべての施設で行なわれます。いつでも、自施設にTAVIを受けられた患者さんが来られる可能性があります。我々コメディカルは、何を考えれば良いのでしょうか。TAVIの基礎から最新のSHDまで知っておく必要があります。今回、TAVIを全く知らない方にもわかり易い講演を予定しています。是非、参加して頂きこれから行なわれる僧帽弁閉鎖不全の治療であるマイトラクリップなどの検査・治療も理解して頂ければ幸いです。SHDは、ハートチームで行なわれます。すべての職種が関わる治療です。皆で理解しましょう!!

座長
赤松 俊二
清水 速人
山口 孝之

TAVIを基礎から知ろう
荒木 基晴

皆で見よう術中経食道エコー TAVI治療を成功に導くために
遠藤 桂輔

特別講演
SHD最新情報 コメディカルが知っておくべき新しい治療
久保 俊介

Poster Session

10:30-12:20 **看護師**

Exhibition Booth A

座長
上村 佳代

- C-35 **多職種が関わるカテーテル室での誤認防止の取り組み**
高木 あい
(おもと会 大浜第一病院)
- C-26 **情報共有を目的としたデータベースを作成して**
金澤 雄二
(函館市医師会病院)
- C-27 **血管造影室コメディカルスタッフの相互理解と教育を深めるための新たな試み**
Digital
加藤 雅子
(神戸大学医学部付属病院)
- C-28 **TAVI Trans-Femoral アプローチの時間短縮にコメディカルが取り組んだこと**
澤城 梨沙
(医療法人 名古屋澄心会 名古屋ハートセンター)
- C-29 **ICUにおけるせん妄評価の現状と今後の課題～CAM-ICUを導入して～**
鹿子田 美恵
(星総合病院)
- C-30 **EVT前後における動脈触知スケールの院内標準化とその効果**
渡辺 朋美
(医療法人社団誠馨会 新東京病院)
- C-31 **アンギオ室における安全強化を目指した多職種参加型デブリーフィングの取り組み**
Digital
櫻井 正子
(大阪府立急性期・総合医療センター)
- C-32 **経カテーテル心房中隔欠損閉鎖術における課題**
古梶 有紀
(医療法人社団誠馨会 新東京病院)

- C-33** 心臓 CT 検査におけるビソノテープの有用性の検討
平田 優香
(札幌整形循環器病院)
- C-34** 肺静脈隔離術時の抑制帯の工夫、作成
Digital 福島 洋美
(心臓血管研究所付属病院)
- C-36** カテ室残業時間の減少化を目指して
米山 美和子
(岡村記念病院)
- C-89** JCI の認定取得による心臓カテーテル検査室の業務内容の変化の検討
林 浩範
(湘南藤沢徳洲会病院)

Exhibition Booth B

- 座長
小川 真澄
- C-37** 当院アンジオ室における急変時シミュレーションの取り組み～第一報～
前野 麻紀子
(社会医療法人 北海道循環器病院)
- C-38** 緊急心臓カテーテル検査患者の早期入室に向けての取り組み
魚谷 里香
(徳山中央病院)
- C-39** カテーテル検査・治療前の処置内容の統一を目指して
Digital 山崎 光世
(群馬県済生会前橋病院)
- C-40** PCI 術前後オリエンテーションについての検討
上白土 恵美子
(鎌ヶ谷総合病院)
- C-41** 初回と 2 回目以上の患者の検査前における心臓カテーテル検査への不安の違いとその要因
佐藤 照美
(那須赤十字病院)

- C-42** 当院における Door to Balloon Time の現状 ～時間短縮への取り組み評価～
上脇 美代子
(鹿児島医療センター)
- C-43** Door to balloon time の違いから見える時間短縮に向けた考察
Digital 湯浅 雪
(医療法人社団誠馨会 新東京病院)
- C-44** 心臓カテーテルを受ける患者へカテ前訪問と集団オリエンテーションを導入して
澤海 綾子
- C-45** Door to Balloon Time の短縮に向けて ER との連携
三田 佐恵子
(湘南鎌倉総合病院)
- C-46** 日帰りセンター立ち上げと今後の課題
高木 あい
(おもと会 大浜第一病院)
- C-47** 長時間におよぶカテーテル治療での術者の暑さ対策
原 陽子
(熊本労災病院)

Saturday, October 22

Room 9

8:30-11:50 コメディカルライブ **LIVE Coronary Live in Toyohashi**

例年通り CCT2016 コメディカルライブを行います。目まぐるしく進歩している冠インターベンション。変化し続ける治療方法、デバイスなど、我々コメディカルもそれに対応しなければなりません。
CCT コメディカルセッションで最近のトレンド、最新の情報を学んだ再確認として、またチーム医療の集大成ともいえるカテ室業務の再確認、再発見として、豊橋ハートセンター PCI ライブをご覧ください。と思っております。皆様奮ってご参加いただけますようよろしくお願いいたします。

座長

清水 速人
添田 信之
富田 紀雄

コメンテーター

赤松 俊二
今井 俊輔
木下 博子
玉澤 充
辻井 正人
松本 一真
湯面 真吾

PCI-related complication: Perforation
Yu Gi Won

TAVI status in Korea
Kyung Jin Jung

コメディカルライブでは、
e-mail で質問を受け付けます！
ふるってご参加ください。
c-question@cct.gr.jp



Luncheon Seminar

12:00-13:00 IVUS 虎の巻 2016 - エキスパートから学ぶ -

座長

添田 信之

演者

平田 和也
山口 敏和

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

13:00-16:00 基礎から心電図を勉強しましょう

心電図は、心臓の異常を早期に捉えられることのできる非常に重要な検査です。循環器に携わる comedical だけにとどまらず、すべての人たちが関心を持っている分野です。しかし、心電図は苦手、基礎から学びたいといった人たちの声が多く聞こえてきます。CCT では今回、そういった声に応え、超初心者用に基礎から学べるような勉強会を企画いたしました。心電図の成り立ちから、STT 変化のみかた、不整脈のみかたなどを解説させていただきます。最後に中川義久医師に、見落としてはいけない病棟モニター心電図について講演して頂きます。
申請予定：日本心電図学会主催の認定心電図検査技師更新のためのポイント 10点

13:00-13:30 Part 1 超初心者用心電図の基礎

座長

中山 一夫

演者

辻井 正人

13:30-14:10 **Part 2 基本的な STT 変化のみかた**

座長
武田 和也

演者
清水 速人

14:10-14:50 **Part 3 基本的な不整脈のみかた**

座長
藤田 光広

演者
赤松 俊二

15:00-16:00 **Part 4 眼からウロコが落ちるように判る心電図の話**

座長
富田 紀雄
中村 康雄

演者
中川 義久

Room11

Digital Poster Session

9:00-10:30 **看護師**

座長
穴戸 尚美
島袋 朋子

審査員
中村 可奈

審査員長
未定

C-39 カテーテル検査・治療前の処置内容の統一を目指して
Digital
山崎 光世
(群馬県済生会前橋病院)

C-27 血管造影室コメディカルスタッフの相互理解と教育を深めるための新たな試み
Digital
加藤 雅子
(神戸大学医学部付属病院)

C-43 door to balloon time の違いから見える時間短縮に向けた考察
Digital
湯浅 雪
(医療法人社団誠馨会 新東京病院)

C-31 アンギオ室における安全強化を目指した多職種参加型デブリーフィングの取り組み
Digital
櫻井 正子
(大阪府立急性期・総合医療センター)

C-34 肺静脈隔離術時の抑制帯の工夫、作成
Digital
福島 洋美
(心臓血管研究所付属病院)

10:30-11:50 **Angio セッション**

Angioセッションにおいては、まず始めにPCI時における画像提供の工夫や、CT画像を用いた支援画像について講演して頂きます。次にステントグラフトにおけるガイドライン、手技の方法、計測方法について講演して頂きます。最後にTAVIにおける放射線技師の役割、術前検査の計測などを講演して頂きます。

座長
木村 紘也
鯨井 秀之

心臓領域の画像診断
水崎 繁

ステントグラフトについて
早川 朋美

TAVI について
今井 康之

13:00-14:30 **エキスパートセミナー②**

万一の際のトラブル対処法や合併症からのペイルアウト方法を熟知してもらうためのセッションです。「何があってもあわてない」そんな姿勢を身につけて、信頼されるエキスパートになりましょう。

座長
塩田 裕啓
平田 和也

合併症やトラブルへの対処①
山口 敏和

合併症やトラブルへの対処②
岡田 忠久

合併症やトラブルへの対処③
玉澤 充

Digital Poster Session

14:30-16:00 **臨床工学技士・臨床検査技師**

座長
塩田 裕啓
平田 和也

審査員
清水 速人
山口 敏和

審査員長
佐藤 匡也

C-58 VH-IVUS 画像を用いた浅大腿動脈病変に対する組織性状の解析
Digital
後藤 健宏
(三重大学医学部附属病院)

C-57 FlythroughView で冠動脈内に脱落した Stent を探索した 1 例
Digital
杉村 淳
(聖隷横浜病院)

C-59 プレッシャーワイヤを用いた狭窄度を評価し治療を行った慢性血栓性肺高血圧症の一例
Digital
川口 裕正
(聖マリアンナ医科大学病院)

C-87 分岐部病変に Glider Balloon は有効か? - 分岐部モデル血管による検討 -
Digital
中川 透

C-88 Scoreflex の体外実験による検討
Digital
武田 法子
(公益財団法人 星総合病院)

Poster Session

10:00-11:50 **臨床工学技士・臨床検査技師**

Exhibition Booth A

座長
長谷川 由美子

C-48 OFDI にて 2 枝に LotusRoot を認めた病変に対して PCI を行なった一例
吉川 誠人
(市立奈良病院)

C-49 OCT の新しい機能「Apposition Indicator」の使用経験
小松 伸太郎
(桜友会 所沢ハートセンター)

C-50 当院における Cypher-ISR の OFDI 所見について
中原 三佐誉
(社会医療法人天陽会 中央病院)

C-51 生分解性ポリマーを有する薬剤溶出型ステント留置後約 1 ヶ月での新生内膜被覆について
和田 知沙都
(社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院)

C-52 緊急症例における OFDI ガイド PCI と IVUS ガイド PCI の検討
梁川 和也
(国立病院機構 北海道医療センター)

Co-medical

- C-53** 血管内視鏡にて突出性 Hard plaque を発見し Stent を Cover した一例
富田 誠士
(千葉西総合病院)
- C-54** LMT から LAD にかけてびまん性病変の PCI 治療戦略に対し iFR と FFR が有用であった一例
松本 定治
(関東中央病院)
- C-55** FFR で defer した 1 か月後に UAP となった一例
小森田 翔
(心臓病センター榊原病院)
- C-56** ATP 静脈内持続投与にニコランジル冠動脈内投与を追加した FFR 測定の有用性
假屋 成耕
(兵庫県立尼崎総合医療センター)
- C-57** FlythroughView で冠動脈内に脱落した Stent を検索した 1 例
杉村 淳
(聖隷横浜病院)
- C-58** VH-IVUS 画像を用いた浅大腿動脈病変に対する組織性状の解析
後藤 健宏
(三重大学医学部附属病院)
- C-59** プレッシャーワイヤを用いた狭窄度を評価し治療を行った慢性血栓性肺高血圧症の一例
川口 裕正
(聖マリアンナ医科大学病院)
- C-62** DCB 施行患者と LASER+DCB 施行患者の予後について
大槻 直夢
(千葉西総合病院)
- C-63** スtent内再々狭窄病変に対しエキシマレーザーと薬剤溶出性バルーンを併用した一例
田中 柊次
(独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院)
- C-64** 超びまん性病変の成績とフルカバースtentの必要性
吉田 篤司
(京都桂病院)
- C-65** 透析患者における PCI 治療後の血圧・EF 変化の検証
林 貞治
(千葉西総合病院)
- C-66** 右室に限局した急性心筋梗塞の一例
中曾根 由季
(東京警察病院)
- C-67** 血栓吸引療法単独で治療を完結した STEACS の 1 症例
山口 和也
(市立旭川病院)
- C-68** PAF Ablation 中に Sinus Node Artery に狭窄を生じ、PCI 施工し、SR に復帰した一例
西尾 皓人
(名古屋ハートセンター)
- C-70** 膝下動脈病変に対する PPI 施行時における NIRO-200NX 測定の有用性の検討
桜沢 貴俊
(JA 長野厚生連 篠ノ井総合病院)
- C-72** 当院での下肢慢性完全閉塞 (CTO) に対する CROSSER の使用群と非使用群の比較
鈴木 千尋
(千葉メディカルセンター)
- C-73** SFA の高度石灰化を伴う CTO に対して CROSSER が有用であった一例
喜田 佳介
(社会医療法人 天陽会 中央病院)
- C-74** 大腿膝窩動脈病変を有する閉塞性動脈硬化症における遠位側小血管の予測因子
倉田 直哉
(独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院)
- C-75** 補助循環装置 (PCPS) の 24 時間安全管理体制の構築について
渡邊 拓也
(東京慈恵会医科大学附属病院)
- C-76** 心筋炎再発? ~ PCPS・IABP 装着患者他院搬送の経験~
杉山 哲司
(国立病院機構 長崎医療センター)
- C-77** 1 型解離に対し PCI・OPE 施行した一例
岡本 隆嗣
(名古屋ハートセンター)
- C-79** 心カテ室におけるポリグラフの精度管理について
富田 元沖
(財団法人 仙台市医療センター 仙台オーブン病院)
- C-80** 当院における PCI 中の ACT 測定方法の検討
松田 美由貴
(名張市立病院)
- C-81** CE 配属前後での時間外経皮的冠動脈形成術時の血管内エコー装置の使用頻度の検討
大塚 智久
(大阪府済生会泉尾病院)
- C-82** WCCM でのアンケートにより得られた各施設の現状調査報告
野崎 暢仁
- C-83** 条件付き MRI 対応ペースメーカーにおける当院での対応
鍋島 豊
(KKR 札幌医療センター)
- C-84** 当院における埋め込み型心電計の成績
遠藤 孝敏
(いわき市立総合警域共立病院)
- C-85** 当院における心臓リハビリテーション
柿本 将秀
(医療法人 三重ハートセンター)
- C-86** 当院の生体情報モニタとナースコール連携についての検討
小坂 紗里架
(医療法人 永井病院)
- C-87** 分岐部病変に Glider Balloon は有効か? - 分岐部モデル血管による検討 -
中川 透
- C-88** Scoreflex の体外実験による検討
武田 法子
(公益財団法人 星総合病院)

Exhibition Booth B

- 座長
館 智子
- C-60** 当院の DCA の急性期成績
橋本 将太
(星総合病院)
- C-61** 10 年前に留置した BMS 内の新規病変に対し DCA-DCB を施行した一例
白岩 佑樹
(IMS グループ 板橋中央総合病院)

Exhibition Booth C

- 座長
菊地 康昭
- C-69** BK 領域にて可動式 Micro catheter (以下: 可動式 MC) が特に有用であったの 2 用例より検討
山本 泰範
(高邦会 福岡山王病院)

Exhibition Booth D

- 座長
中西 基修
- C-78** スtentデリバリーカテーテルにおける追従性、通過性、操作性の定量評価
佐生 喬
(三重大学医学部附属病院)

CT Skill-up Seminar

*English Available

Date: Thursday, October 20 - Saturday, October 22
Venue: Kobe International Exhibition Hall 1, Exhibition
For: Medical, Co-medical

Co-sponsored by:
FUJIFILM Medical Co., Ltd.
GE Healthcare Japan Corporation
Ziosoft, Inc.

Course Director: Satoru Sumitsuji
Course Co-Directors: Hidekazu Aoyama (Nagoya Tokushukai General Hospital)
Ryosuke Kametani (Nagoya Tokushukai General Hospital)
Tadashi Kuroda (Osaka Medical Center for Cancer and Cardiovascular Diseases)
Masaaki Okutsu (Kawasaki Medical School, Kawasaki Hospital)
Yoshihiro Takeda (Osaka Medical College)
Keita Yamasaki (Osaka University)

Course Details:

Over the past decade, Heart CT has advanced to an effective tool for assessing coronary artery disease. With the ability of evaluating (1) coronary plaques characteristics, (2) severity and extent of calcified coronary artery segments and (3) coronary arteries beyond chronic total occlusions, Heart CT still holds enormous potential as a PCI supporting tool. While PCI success rates can be further improved, integrated CT information helps to stratify procedural risk and reduce complications. For this purpose, however, analyzing Heart CT by the PCI operator him/herself is essential. The present hands-on course aims to introduce the novel, user-friendly "Sliding Slab MIP" method, and to demonstrate how to take full advantage of Heart CT imaging in your daily PCI cases. Please join us to learn and experience the usefulness of Heart CT.

This year, we have shortened each session length to 60 min so as to be more accessible for you e.g. in the intervals between the PCI Live cases. Since there is a limited capacity of 12 attendees per session, it is highly recommended that you register as early as possible.

Side Menu:

Hands-on exhibition of all workstations (FUJIFILM, GE Healthcare, Ziosoft) is available during break time. "Sliding Slab MIP" and more other applications are demonstrated individually. We also kindly invite you to bring your own case data in DICOM format* for analysis. One of our instructors is ready to support you anytime.

(* In thin slice 300-400 axial data set. Please contact your workstation vendor personnel for details.)

Lectures will be held in Japanese. English speaking assistant, however, is ready to help you in every session. Please apply for attendance from the Japanese website.

On-site attendance is accepted in case vacant workstation is available. The venue is always open for non-hands-on audit.

Fundamental Course

The basic operation, diagnostic methods, tips and tricks of "Sliding Slab MIP" imaging will be explained.

Advanced Course

A seminar working with doctors who have already learned the basic operation of "Sliding Slab MIP" imaging. Discussions will be made based on your own analysis of the practical cases, by reference to the corresponding angiogram and IVUS information.

CTO Course

Focusing on CTO cases, where Heart CT exerts extensive significance, key points to notice, interpretation of analysis and how to utilize them for planning PCI strategies will be explained or discussed. Experienced CTO-PCI operators are welcome. Two instructors per session will present their own case of procedure. Since the contents of the 2 sessions are different, attending both sessions consecutively is also accepted.

Dates	Session	Time	Language	Course	Capacity
Thursday, October 20	A	10:30-11:30	Japanese (English)	Fundamental	12
	B	14:30-15:30		Fundamental	
	C	16:30-17:30		Advanced	
Friday, October 21	D	10:30-11:30		Fundamental	
	E	14:30-15:30		Advanced	
	F	16:30-17:30		Fundamental	
Saturday, October 22	G	9:30-10:30	CTO Course A		
	H	10:30-11:30	CTO Course B		

Pre-registration is required for these sessions. On-site registration may still be possible depending on the seat availability.

CT Skill-up Seminar

日程: 10月20日(木)~10月22日(土)
会場: 神戸国際展示場1号館1階展示会場内
対象: メディカル/コメディカル

共催: ザイオン株式会社
GEヘルスケア・ジャパン株式会社
富士フイルムメディカル株式会社

Course Director: 角辻 暁
Course Co-Directors: 青山 英和 (名古屋徳洲会総合病院)、奥津 匡暁 (川崎医科大学附属川崎病院)
亀谷 良介 (名古屋徳洲会総合病院)、黒田 忠 (大阪府立成人病センター)
武田 義弘 (大阪医科大学)、山崎 慶太 (大阪大学)

心臓CTは冠動脈診断における日常的検査として広く認められるようになりました。病変の検出はもちろんのこと、PCIのストラテジーを構築するために有用な多くの画像情報もCTから得ることができます。ただし、そのためにはわれわれ冠動脈インターベンションリストが自ら画像解析をし、PCIに必要な情報を引き出さなくては真に有効利用することはできません。画像解析方法にも様々なものがありますが、われわれはPCIに最も反映しやすい方法としてSliding Slab MIP法を推奨しています。本コースではこのSliding Slab MIP法を用いた冠動脈診断をハンズオン形式で御紹介いたします。心臓CTの診断能力を身に付けることで格段に冠動脈画像解析の世界は広がります。そして今後、この能力は我々にとって大きな武器となるでしょう。是非、この機会に心臓CTをマスターしてください。今回も昨年同様、CTOコースを設けました。CTOのCT画像からはCAGで得られない多くの情報を得ることができ、PCIにおける不可欠な補助情報となります。CTO-PCI経験の豊富な先生方のご参加もお待ちしております。今回は各セッションを今までの90分から60分へ短縮いたしました。ライブの合間にお気軽にご参加ください。

また、講習の空き時間はワークステーションを自由にご利用いただけます。

*ご自身の施設で撮影されたCTデータを御持参いただければ実際にその画像解析をすることができます。その際はわれわれが個別対応いたします。データは再構成をおこなった最適フェーズaxial画像をDICOMデータでお持ち下さい。ご不明の場合はCTメーカー担当者へご確認いただくこととお勧めいたします。

*Slab MIP以外に各社のワークステーションの様々な機能をお試しいただくことも可能です。各社スタッフが個別対応いたします。

●Fundamentalコース

Sliding Slab MIP法の操作方法および基本的なCT診断のポイントを解説します。

●Advancedコース

Sliding Slab MIPの基本操作を習得されている方を対象とします。アンギオおよびIVUSを提示して実際に皆さんに症例のCT診断を行っていただきます。

●CTOコース

特にCTが有用性を発揮するCTO症例への活用法を解説します。皆さんに症例のCT診断を行っていただいたうえで、その読影のポイントとそれによるストラテジーの構築、実際に行った手技を4名の講師から1例ずつ解説します。2部構成としておりますが、すべて異なる症例になっていきますので2部を通してのご参加も受け付けております。

今回はGEヘルスケア・ジャパン株式会社、富士フイルムメディカル株式会社、ザイオンソフト株式会社の3社にご協力いただき各社のワークステーションを準備しております。台数に限りがございますのでお早めにお申し込みください。定員に満たない場合は当日、会場での参加受付も行ってまいります。聴講のみの場合は予約不要で、スペースの許す限り人数制限はありません。

日付	セッション	時間	コース	定員
10月20日(木)	A	10:30-11:30	Fundamental	12名
	B	14:30-15:30	Fundamental	
	C	16:30-17:30	Advanced	
10月21日(金)	D	10:30-11:30	Fundamental	
	E	14:30-15:30	Advanced	
	F	16:30-17:30	Fundamental	
10月22日(土)	G	9:30-10:30	CTO Course A	
	H	10:30-11:30	CTO Course B	

事前申込制ですが、当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

IVUS Learning Center

Japanese
only

日程: 10月20日(木)~10月22日(土) 共催: 血管内イメージング研究会
会場: 神戸国際展示場1号館展示会場 ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
対象: メディカル/コメディカル

Small Group形式のレクチャーを行います。

- Standardコース: 基礎的な画像理解、計測方法の講義
- Advanceコース: IVUS の情報をPCI 戦略に応用

日付	セッション	時間	コース	
10月20日(木)	Session A	A-1	13:45-14:45	Standard
		A-2	15:00-16:00	Advance
10月21日(金)	Session B	B-1	10:45-11:45	Standard
		B-2	14:00-15:00	Advance
10月22日(土)	Session C	C-1	9:00-10:00	Standard
		C-2	10:30-11:30	Advance

事前申込制ですが、当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

OCT/OFDI Training Center

Japanese
only

日程: 10月20日(木)~10月22日(土)
会場: 神戸国際展示場2号館3階 3B 会議室
対象: メディカル/コメディカル

共催: セント・ジュード・メディカル株式会社
テルモ株式会社

Course Director: 志手 淳也

●OCTコース[コメディカルエキスパート編]

対象: コメディカル
講師: コメディカル

OCTの基礎と実臨床での有用性を学ぶことが出来るコースです。手技のコツや注意点・画像の読み方といったカテ室でコメディカルに求められる知識やPCIにおけるOCTの活用方法について、OPTISを使用した症例提示を交えて経験豊富なコメディカルの講師に分かり易く解説して頂きます。

●OCTコース[臨床応用編]

対象: メディカル/コメディカル
講師: メディカル

OCTのエビデンスや実臨床における様々な症例におけるOCTの有用性を学ぶことが出来るコースです。新たに臨床使用が可能となったアンジオ同期機能や3D機能の有用性と、PCI治療においてOCTにより得られた情報をどのように治療戦略に活かすかを症例提示や最新の論文紹介を交えて経験豊富な講師に解説して頂きます。

日付	時間	対象	コース	講師	定員
10月20日(木)	11:00-12:00	コメディカル	OCTコース [コメディカルエキスパート編]	黒川 宗雄 (奈良県立医科大学)	20名
10月21日(金)	15:00-16:00	メディカル コメディカル	OCTコース [臨床応用編]	石橋 祐記 (聖マリアンナ医科大学病院)	20名
10月22日(土)	11:00-12:00	メディカル コメディカル	OCTコース [臨床応用編]	名越 良治 (大阪府済生会中津病院)	20名

事前申込制ですが、当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

●OFDI Seminar[治療戦略コース]

対象: メディカル
講師: メディカル

本セミナーでは、経験豊富な講師陣によるOFDI guided PCIのレクチャーおよび、治療戦略に関するディスカッションの場を設けさせて頂きました。

●OFDIコース[メカニカルコース]

対象: コメディカル
講師: コメディカル

本セミナーは、PCI施行時におけるOFDIの活用法とともに、シミュレーターを用いた実際の操作方法を学んで頂くためにご用意致しました。

日付	時間	対象	コース	講師	定員
10月20日(木)	15:00-16:30	メディカル	OFDI 治療戦略コース	久保 隆史 (和歌山県立医科大学)	7名
10月21日(金)	10:00-11:30	メディカル	OFDI 治療戦略コース	添田 恒有 (奈良県立医科大学)	7名
10月22日(土)	13:00-14:30	コメディカル	OFDI メカニカルコース	白樫 貴宏 (大阪府済生会中津病院)	7名

事前申込制ですが、当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

Rotablator Mastership Program

Japanese
only

日程: 10月20日(木)～21日(金) 共催: ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
会場: 神戸国際展示場1号館展示会場内

日付	時間	テーマ	モデレーター	症例提示	定員
10月20日(木)	16:15-17:45	ロータプレーターの トラブルシューティング	岡田 尚之	芹川 威 高木 健督	10名
10月21日(金)	16:15-17:45	イメージングを駆使した 合併症の回避	本江 純子	柴田 浩遵 菅原 重忠	10名

事前申込制ですが、当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

PCI BailOut Seminar

Japanese
only

日程: 10月20日(木)～22日(土) 共催: テルモ株式会社
会場: 神戸国際展示場 2号館3階 3A会議室
対象: メディカル

デバイスに起因した合併症発生のメカニズムを明らかにすると共に万一の際の脱出方法に関して、模擬実技を通して体験頂くセミナーです。
皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

日付	時間	対象	講師	定員
10月20日(木)	15:00-17:00	メディカル	片岡 一明 (名張市立病院)	6名
10月21日(金)	15:00-17:00		日浅 豪 (愛媛県立中央病院)	6名
10月22日(土)	10:00-12:00		塚本 幸資 (堺市立総合医療センター)	6名

事前申込制ですが、当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

超音波ハンズオンセミナー

Japanese
only

日程: 10月22日(土) 協力: 東芝メディカルシステムズ株式会社
第1部 13:00～14:30 第2部 14:40～16:10 テルモ株式会社
会場: ポートピアホテル 本館 B1F Room12
対象: メディカル/コメディカル

触ってみよう超音波!

実際に超音波プローブを持っていただき、描出方法や注意点を学んでみませんか。全くの初心者から経験者まで、職種を問わずどなたでも参加可能です。

一人でも多くご参加いただき、明日からの治療に役立てていただきたいと思います。

●進行

納口 英次

●アドバイザー

浅岡 伸光

●定員

第1部 ・下肢:10名 ・頸動脈:5名 ・心臓:15名
第2部 ・下肢:5名 ・頸動脈:5名 ・心臓:15名 ・インターベンション:10名

定員になり次第締め切りとさせていただきます。当日も可能な限り対応させていただきます。

●講師

下肢・頸動脈エコー	八鍬 恒芳 寺澤 史明 寺西 ふみ子
心臓エコー	六尾 哲 遠藤 桂輔 桜山 千恵子
インターベンションエコー (*第2部のみ)	永井 美枝子 滝村 英幸

各セッションとも10分程度のレクチャーのあとハンズオンを行います。

冠動脈模型作成

Japanese
only

日程: 10月22日(土) 14:00~17:00

協賛: 関西 IVR 撮影技術研究会

会場: 神戸国際展示場2号館2階 Room3

対象: メディカル/コメディカル/企業関係者

このハンズオンセミナーでは、冠動脈の展開模型をお渡しして、冠動脈をトリミングし、塗装、セグメント番号を添付して完成です。
完成した模型は、職場でのカンファレンスや患者への説明への有用なツールとなります。
是非、作成してみてください。

●作業時間

約2時間程度

●費用

3,000円(CCT参加費とは別途必要)

●定員

50名(事前申込制)

※定員になり次第締め切りとさせていただきます。当日も可能な限り対応させていただきます。

工具・持ち帰り用袋など、全てご用意します。手ぶらでご参加ください。

CTO Hands-on Seminar

Japanese
only

日程: 10月20日(木)~22日(土)

共催: 日本メドトロニック株式会社

会場: 神戸国際展示場2号館1階 Educational Booth

対象: メディカル

CTOのHands On Seminarを実施します。

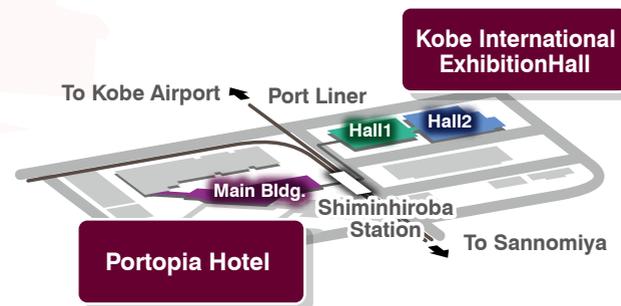
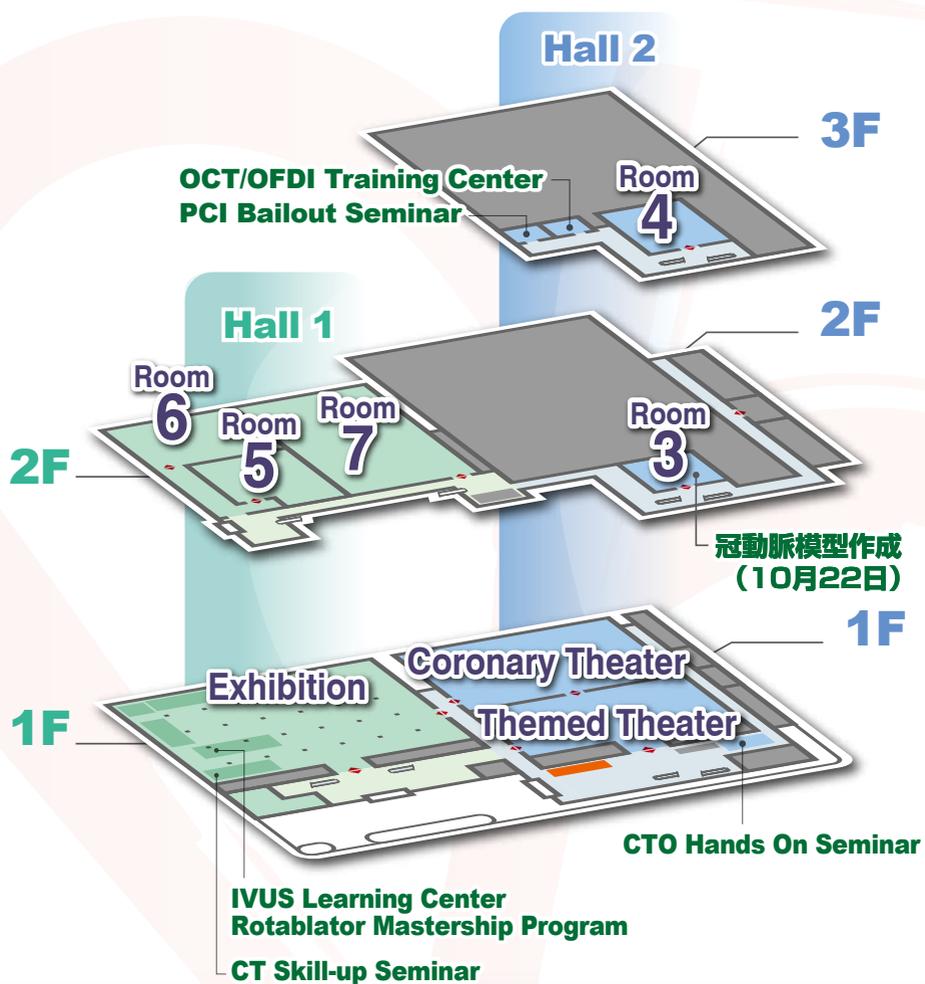
エキスパートの先生方からメソッドだけではなくテクニックについて学ぶことができるコースとなります。ぜひご参加ください。

- オペレーターとしてのPCI経験100例以上200例未満、かつCTO経験が少ない医師
- Antegrade及びRetrogradeアプローチによるCTO治療のトレーニングを希望する医師

日付	コース	時間	講師	定員
10月20日(木)	Seminar 1	10:00-11:30	臼井 公人	2名
	Seminar 2	15:00-16:30	岡田 正治	2名
10月21日(金)	Seminar 3	10:00-11:30	福原 怜(兵庫県立尼崎総合医療センター)	2名
	Seminar 4	15:00-16:30	永松 航	2名
10月22日(土)	Seminar 5	10:00-11:30	石原 昭三	2名
	Seminar 6	14:00-15:30	永井 宏幸(桜橋渡辺病院)	2名

事前申込制ですが、当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

Kobe International Exhibition Hall



Portopia Hotel Main Bldg.



Acknowledgements

CCT would like to express gratitude to the following partners.



Diamond Supporters

Abbott Vascular Japan Co., Ltd.
TERUMO CORPORATION
Boston Scientific Japan Corporation



Bronze Supporters

Photron Medical Imaging Inc.,
MEDIKIT Co., Ltd.
Abiomed
WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.
Your Health Care Co., Ltd.

Siemens Japan K.K.
SHIONOGI & CO., LTD
Astellas Pharma Inc.
Just Medical Corporation



Gold Supporters

ASAHI INTECC CO., LTD.
Medtronic Japan Co., Ltd.
NIPRO CORPORATION
GOODMAN CO., LTD.



Silver Supporters

TOSHIBA MEDICAL SYSTEMS CORPORATION
Volcano Japan Co., Ltd.
St. Jude Medical Japan Co., Ltd.
SHIMADZU CORPORATION
Cardinal Health Japan



Special thanks to

Asian-Pacific CTO Club
Cardiovascular International Association of Thailand (CIAT), Thailand
Complex Cardiovascular Catheter Therapeutics (C3), USA
CARDIOVASCULAR SUMMIT-TCTAP, Korea
China Interventional Therapeutics (CIT), People's Republic of China
Chinese Society of Cardiology, People's Republic of China
ENCORE SEOUL, Korea
India Live, India
Indonesian Society of International Cardiology (ISIC), Indonesia
Japanese Bifurcation Club
Japanese Women's Interventional Conference (J-WINC)
National Interventional Council (NIC), India
PCR
SLENDER CLUB JAPAN
Taiwan Transcatheter Therapeutics (TTT), Taiwan, R.O.C.
Tokyo Percutaneous Cardiovascular Intervention Conference (TOPIC)
The Federation of Pharmaceutical Manufacturers' Association of JAPAN



Bronze Supporters

Medicon, Inc.
ACIST Japan, Inc.
OrbusNeich Medical K.K.
Zeon Medical Inc.
Biosensors Japan Co. Ltd
Japan Lifeline Co., Ltd.
Edwards Lifesciences Corporation
Philips Electronics Japan, Ltd. Medical System
KANEKA MEDIX CORPORATION
DAIICHI SANKYO COMPANY, LIMITED
Takeda Pharmaceutical Company Limited.
CARDIOVASCULAR SYSTEMS, Inc.

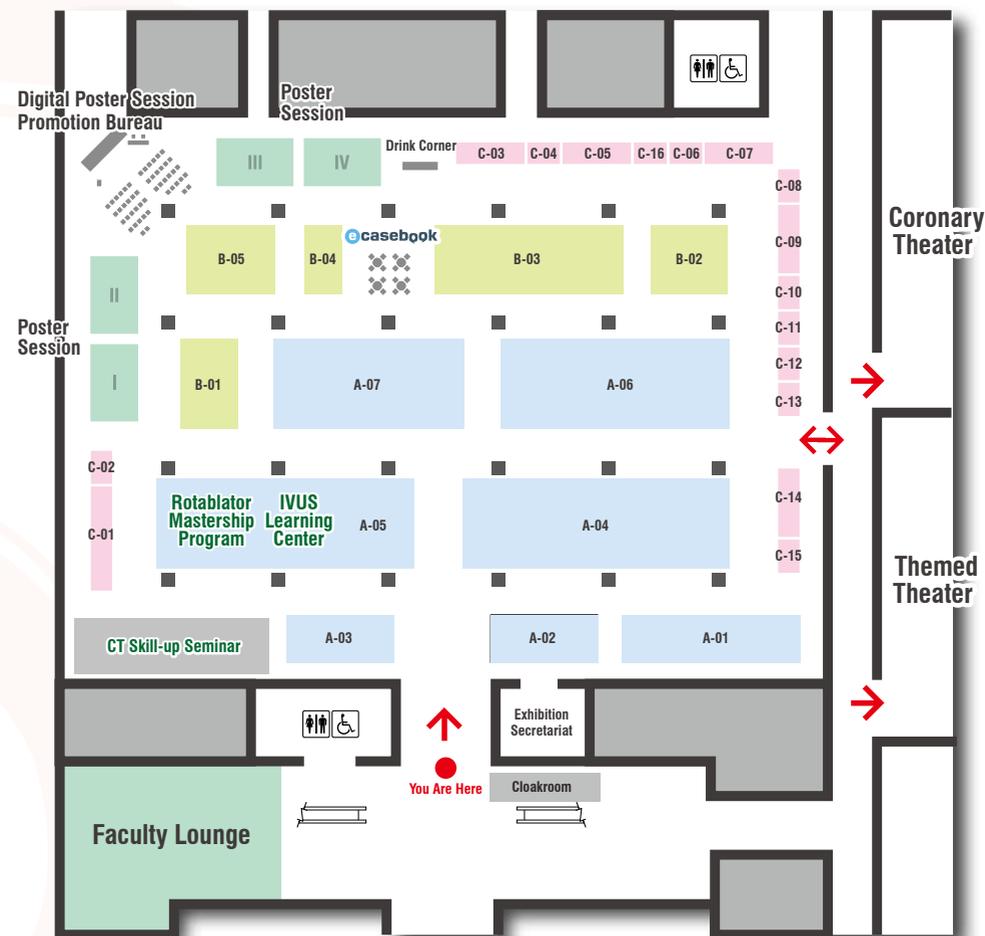
Tokai Medical Products, Inc.
Fukuda Denshi Co., Ltd.
Boehringer Ingelheim Japan, Inc.
DVx Inc.
MSD K.K.
Sanofi-aventis K.K.
Biotronic Japan
SHEEN MAN CO., LTD.
Mitsubishi Tanabe Pharma Corporation
Technowood
Toyo Feather Industry, co., ltd.
Nexis Co., Ltd.

Live Case Transmission (Special Focus Live, Featured Live, Petit Focus Live) co-sponsored companies
Abbott Vascular Japan Co., Ltd., ASAHI INTECC CO., LTD., Boston Scientific Japan K.K.,
Cardinal Health Japan, Medicon, Inc., TERUMO CORPORATION, TOSHIBA MEDICAL SYSTEMS CORPORATION

Exhibition Hall Map

Booth No. Exhibitors

A-01	ボルケーノ・ジャパン株式会社 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン フィリップス・レスピロニクス合同会社	Volcano Japan Co., Ltd. Philips Electronics Japan, Ltd. Philips Respironics GK
A-02	オーバスネイチメディカル株式会社	OrbusNeich Medical K.K.
A-03	株式会社島津製作所	SHIMADZU CORPORATION
A-04	アボット バスキュラー ジャパン株式会社	Abbott Vascular Japan Co., Ltd.
A-05	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社	Boston Scientific Japan K.K.
A-06	ニプロ株式会社 株式会社グッドマン	NIPRO CORPORATION GOODMAN CO., LTD.
A-07	テルモ株式会社	TERUMO CORPORATION
B-01	セント・ジュード・メディカル株式会社	St. Jude Medical Japan Co., Ltd.
B-02	アシスト・ジャパン株式会社	ACIST Japan K.K.
B-03	日本メドトロニック株式会社	Medtronic Japan Co., Ltd.
B-04	東芝メディカルシステムズ株式会社	TOSHIBA MEDICAL SYSTEMS CORPORATION
B-05	朝日インテック株式会社	ASAHI INTECC CO., LTD.
C-01	フクダ電子株式会社	Fukuda Denshi Co., Ltd.
C-02	株式会社ネクシス	Nexis Co., Ltd.
C-03	カーディナル ヘルス ジャパン	Cardinal Health Japan
C-04	ディーブイエックス株式会社	DVx Inc.
C-05	日本ライフライン株式会社	Japan Lifeline Co., Ltd.
C-06	株式会社東海メディカルプロダクツ	Tokai Medical Products, Inc.
C-07	日本バイオセンサーズ株式会社	Biosensors Japan Co., Ltd.
C-08	東洋羽毛工業株式会社	Toyo Feather Industry, co., Ltd.
C-09	株式会社カネカメディックス	KANEKA MEDIX CORPORATION
C-10	フォトロン メディカル イメージング株式会社	Photron Medical Imaging Inc.
C-11	シーマン株式会社	SHEEN MAN CO., LTD.
C-12	メディキット株式会社	MEDIKIT Co., Ltd.
C-13	日本メドラッド株式会社	Nihon Medrad K.K.
C-14	ゼオンメディカル株式会社	ZEON MEDICAL INC.
C-15	テクノウッド株式会社	Technowood Corporation
C-16	株式会社ジャスト・メディカルコーポレーション	Just Medical Corporation



CCT 2017

Complex Cardiovascular Therapeutics 2017

Dates

Oct. 26 Thu. - **28** Sat., 2017

Venues

Kobe International Exhibition Hall
Portopia Hotel, Kobe, Japan

CCT Administration Office

1-1-5-2E, Maedaminami-machi, Toyohashi, Aichi 440-0851, Japan

TEL +81-(0)532-57-1275 FAX +81-(0)532-52-2883 E-mail secretariat@cct.gr.jp